

第7学年*組 学級活動(1)指導案

指導者 * * * *

R5 研修センター長期研修

1 議題 「合唱祭本番に向けて、みんなでラストスパートをしよう」

学級活動(1) イ 学級内の組織づくりや役割の自覚

2 議題について

(1) 生徒の実態

本校7年生の生徒に対して、学級に関する実態調査（令和5年*月*日実施、第7学年*人）を行った。「学校では、みんなで話し合って、学級のことを決める場があるか」という調査に89.6%の生徒が肯定的に回答した。また、「あなたは、学級活動を充実させるためには、何を工夫すればよいと思うか」（複数回答可）という調査に対して、68.2%の生徒が、「学級会における話し合い活動」と回答した。本学年では、学級生活向上のための話し合い活動に期待する生徒が多い傾向にある。

(2) 議題設定の理由

本議題は、中学校学習指導要領解説特別活動編第1節学級活動2内容(1)イ「学級内の組織づくりや役割の自覚」を受け設定している。来月、実施される秋桜祭での合唱コンクールに向けて、各クラスで練習に取り組んでいる。合唱コンクールの本番が近づき、学級活動委員の話し合いからは、「学級全員で悔いのない本番を迎えたい」という意見があった。今までの練習を振り返り、それぞれができることを考え、悔いのない合唱コンクールにしたい。

3 第7学年の評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をより よくしようとする態度
学級や学校の生活上の諸問題を話し合って解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解している。合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見いだしている。課題解決に向け、話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。	学級や学校における人間関係を形成し、見通しをもったり振り返ったりしながら、他者と協働して日常生活の向上を図ろうとしている。

4 事前の活動

日 時	生徒の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】〈評価方法〉
*月*日 (*) 朝	・1学期の振り返りアンケート実施（学年全員）	・それぞれが自分の生活を振り返るように助言する。	◎学級会への見通しをもち、意欲的に取り組もうとしている。 【主体的態度】 〈打合せカード〉
*月*日 (*) 朝	・議題を決定する。 (学級活動委員会)	・アンケートを基に、議題を見付けるように助言する。	
*月*日 (*) 昼休み	・学級会の打合せ (学級活動委員会)	・打合せシートに記入させながら、話し合いの役割分担や流れについて助言する。	

*月*日 (*) 朝	・学級会ノートに自分の考えを記入する。(学級全員)	・議題に沿って話し合うことや決まっていることが共通理解できるように助言する。	◎自分の考えを理由を明確に書いている。 【思考・判断・表現】 〈学級会ノート〉
---------------	---------------------------	--	---

5 教師の指導計画

日 時	生徒の活動	◎目指す生徒の姿 指導上の留意点
1 はじめの言葉 2 学級活動委員の紹介 3 議題の確認 4 提案理由の確認 5 決まっていることの確認 6 話し合いのめあての確認 7 話し合い 話し合うこと① 「本番に向けて、何をするか」(パートごと) 話し合うこと② 「学級で工夫する点は、どんな点か」 話し合うこと③ 「どんな係や役割が必要か」 8 決まったことの発表 9 振り返り 10 先生の話 11 おわりの言葉	・役割分担や各自のめあてを伝える。 ・提案者が提案理由を説明し、議題が学級全員の問題であることを確認し合う。 ・ノート書記は、決まっていることをみんなに伝える。 ・合唱発表直前に、なぜ、みんなでの話し合いが必要なのか、提案理由やめあてを確認する。 ・話し合い①と②について、パートごとに分かれて話し合う。伴奏者や指揮者もパートごとの話し合いに参加し、意見を出す。 ・パートごとに、出された意見をホワイトボードに記入する。 ・話し合い①と②について、パートごとの意見を発表し合い、全体で合意形成する。 ・話し合い③については、必要な際には、全体で話し合って合意形成する。 ・ノート書記が決まったことを発表する。 ・司会は、提案者に、決まったことの内容が納得できたか確認する。	・司会団は、全体に聞こえる声の大きさと話す。 ・生徒が提案者の思いを聞き、学級全体に関わる課題であることを意識できるようにする。 ・話し合うこと①②は、「くらべ合う」段階から進められるように、事前に各自の学級会ノートに意見をまとめておくようにする。 ◎合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。 【知識・技能】〈観察〉 ・司会が全体での振り返りを進行し、みんなの話し合いを労う。

6 事後の活動

日 時	生徒の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 (観点) 【評価方法】
*月*日 (*) 帰りの会	・決まったことを教室に掲示する。	・学級活動委員が実践を促すよう伝える。	◎決まったことに責任をもって取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 〈観察・学級会ノート〉
*月*日 (*) 秋桜祭終了後	・学級会ノートの振り返りを記入する。	・結果よりも各自の努力を大切にさせる。	